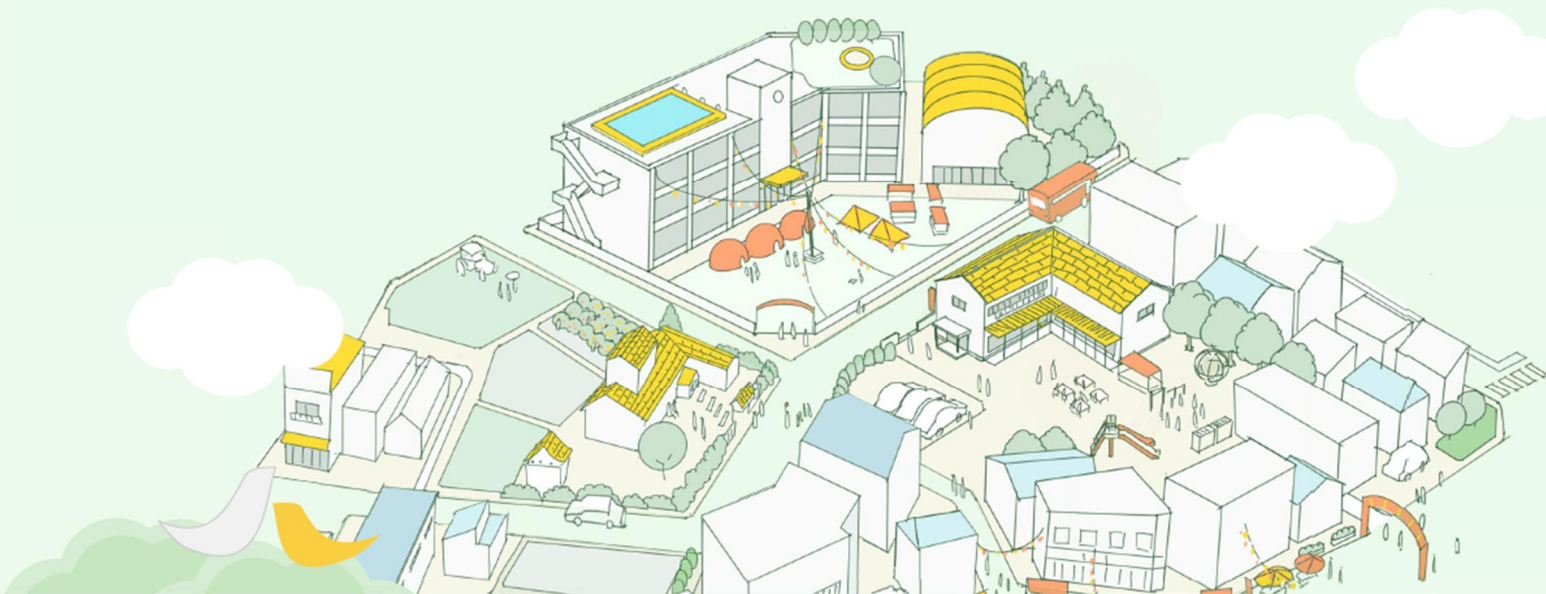


令和7年度 第2回イベント

スモールコンセプションプラットフォーム
現地視察ツアー(in 山形市)

～ 視察のしおり ～



開催日：2025年8月29日～30日

目 次

視察概要及び行程表	-----	2
視察先施設の概要	-----	3
視察地図	-----	4
Q1施設ガイド及び基調講演の概要	-----	5

本ツアーでは、山形市内に点在する複数の官民連携事例を実際に見学していただくと共に、市職員や施設担当者からの説明や質疑応答の時間を設け、スモールコンセッションに関する理解促進を目的としています。実業務への参考や情報獲得の機会として是非ご活用ください。また本ツアーを通じて、参加された会員同士の交流も深めてください。

日時

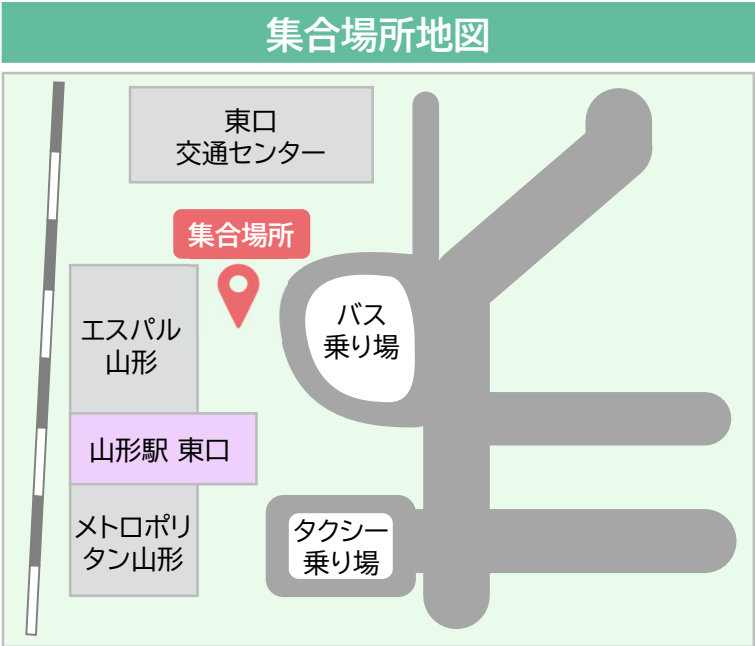
2025年
8/29(金)～30(土)

集合時間

8/29(金)12:00
※時間厳守

集合場所

JR山形駅東口
バスロータリー
※右図記載のバス乗り場に
大型バス配車予定



行程表

	時間	視察先	備考
1 日 目	12:00	JR山形駅東口 集合	・バスに荷物を 載せ徒歩で移動
	12:05～12:15	① KASUMI TERRACE	
	12:50～14:20	② シェルターインクルーシブプレイス コパル	・3班に分かれて視察
	14:40～15:30	③ 道の駅 やまがた蔵王	・自由時間あり
	16:00～16:30	④ 山形まるごと館 紅の蔵	・2班に分かれて視察
	16:45～17:45	都市の変化を体感する市街地開発スポット巡り	・ガイド:馬場氏 ・希望者のみ参加
	17:45	やまがたクリエイティブシティセンターQ1 (1日目解散)	・解散後、マルシェ見 学可能
2 日 目	10:00～10:30	⑤ 馬場氏によるQ1の施設案内	
	10:40～11:40	山形市畑口部長による講演	・会場:Q1の会議室

視察先施設概要

①KASUMI TERRACE

2025年7月にオープン。Park-PFI制度を活用し中心市街地の回遊性を高め、新たな賑わいを創出するため、駅前公園内に整備された。また、中心市街地において貴重な緑のある公園環境を活かし、日陰やベンチといった休憩や飲食等が気軽にできる滞在空間を創出し、ウォーカブルな街づくりを推進している。「本物をより気軽に、より楽しく」をテーマに、高級食材と家庭料理を融合させたワクワクするような料理を提供するイタリアンダイニング。昼はランチ営業の他にカフェとしても営業する。



②シェルターインクルーシブプレイス コパル

2022年オープン。障がい・年齢・国籍を超えて誰もが利用できるインクルーシブな児童遊び場。敷地は蔵王連峰に隣接し、周囲の田園風景に溶け込む自然豊かな環境となっている。インクルーシブな視点から必要となるスロープや手摺、誘導ブロックなどが、ただバリアを解消するだけでなく、誰にとっても新しい遊びや学びのきっかけになるようなデザインとなっている。PFI法に基づき、指定管理者である株式会社夢の公園が維持・管理を担う。2022年度グッドデザイン賞受賞。



③道の駅 やまがた蔵王

2023年開業。地域外から人を呼び込むゲートウェイ、観光拠点として整備された道の駅。周辺施設等の連携の要として、道路利用者のみならず市民、そして周辺地域の住民が日常的に集い、山形を体感しながら心地よくくつろぎ、交流できる空間をコンセプトとする。周辺には歴史ある蔵王温泉や四季折々に魅力溢れる自然環境が存在。DBO方式により整備され、民間の経営能力及び技術的能力を活用し、事業者が公共資金で設計・建設、運営・維持管理まで一括で実施。多目的ホールや芋煮広場、EV充電等を備える。また防災倉庫や非常電源装置を備えており、地域の防災拠点としても機能している。



④山形まるごと館 紅の蔵

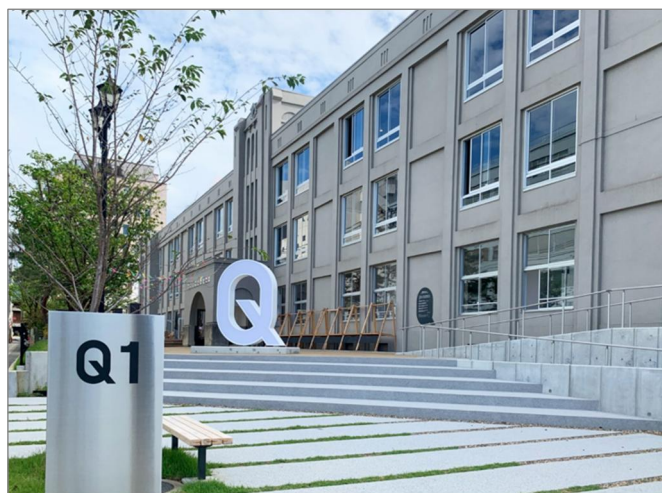
2025年にリニューアルオープン。山形ブランドの魅力発信、中心市街地の活性化を図るため、かつて紅花商人として栄えた長谷川家の蔵屋敷を活用した観光複合施設。母屋と5棟の土蔵を複合施設として活用している。市民や周辺地域の住民が日常的に集い、周囲には歴史と文化が息づくエリアや、四季折々の風情を楽しめる自然環境が広がり、訪れる人々に多彩な魅力を提供している。山形市が一般財団法人山形市都市振興公社に管理運営業務を委託し運営を行う。



⑤やまがたクリエイティブシティセンター Q1

2022年開業。山形市立第一小学校旧校舎を活用し再整備した共創プラットフォーム。山形市と地元大学による連携協定を結び立ち上がった株式会社Q1が、企画・設計から運営までを一気通貫で実施。

「クリエイティブと産業をくらしでつなぐ。」をコンセプトに、創造都市やまがたが世界との交流を図るための情報発信拠点、まちの芸術文化と産業経済をつなぐプラットフォームとしての役割を果たしている。地下1階～地上3階の全4フロアに、多様なショップやオフィス、キッチンスペース、シアタースペース、イベントスペース等の施設を備える。定期開催されている「マルシェイベントQ市」では、Q1の前庭をメインに、コーヒーや古着、ワイン等の都度異なるテーマに沿った出店者が山形県内から軒を連ねる。



8/29～31に、Q1で「グランマルシェ2025」が開催されています。イベントやコンテンツは、右記のQRコードよりご確認ください。

[Q1 グランマルシェ2025 公式サイト]

<https://gm2025.yamagata-q1.com/contents/>



視察先地図



出典：国土地理院(淡色地図)

施設ガイド 2日目(8/30)「やまがたクリエイティブ シティセンターQ1」



馬場 正尊 氏
東北芸術工科大学
デザイン工学部建築・
デザイン学科 教授
オープン・エー代表
取締役

博報堂、早稲田大学博士課程、雑誌『A』編集長を経て、2003年にOpenAを設立。建築設計、都市計画、執筆などを行い、同時期に「東京R不動産」を始める。2008年より東北芸術工科大学准教授、2016年より同大学教授。2015年より公共空間のマッチング事業『公共R不動産』立ち上げ。2017年より沼津市都市公園内の宿泊施設『INN THE PARK』を運営。

基調講演 2日目(8/30)「山形市における公民連携による施設整備について」



畑口 和久 氏
山形市総務部長

1988年山形市役所に入庁。2019年に企画調整部門に異動後は、市立第一小学校の旧校舎を活用したQ1プロジェクトに携わり、旗振り役として事業を推進。東北芸術工科大学と協力しながら公民連携により創造都市やまがたの拠点施設「やまがたクリエイティブシティセンターQ1」として再整備。Q1のほか、道の駅やまがた蔵王の整備や公民連携提案窓口「山ハブ」の開設など数々の公民連携を手がける。

講演会場座席図

